

【 地域みんなで育む未来の学校】

コミュニティ・スクールのご紹介

1. コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

これは、学校が、保護者や地域住民の皆さんの意見を積極的に取り入れながら運営を進めるための仕組みです。学校と地域が共通の目標(ビジョン)を持ち、手を取り合って、子どもたちの豊かな成長と「地域とともにある学校づくり」を主体的に進めていくことを最大のねらいとしています。

2. 学校運営協議会の3つの主な役割

学校運営協議会は、法律に基づき設置される公的な機関です。以下の3つの権限を持ちます。

役割	目的と内容
1. 【  基本方針の承認】	校長が作成する学校運営の基本方針(教育目標や計画)を承認します。方向性を地域で共有し、実行を支えます。
2. 【  意見具申】	学校運営に関し、教育委員会や校長に意見を述べるができます。「もっと地域と連携すべき点」や「学校の強み」などを提言します。
3. 【  支援に関する協議】	学校教育に必要な地域からの支援や連携協力について協議し、具体的な活動を調整します。

大切なポイント

学校運営の最終的な責任は校長にあります。協議会は校長の代わりに学校運営を行うのではなく、「熟議」を通じて地域からの意見を反映させるパートナーです。

熟議と協働で生まれる学校の力

3. 活動を充実させる「車の両輪」

コミュニティ・スクールでは、以下の2つを「一体的」に進めることが成功の鍵となります。

A. 熟議(話し合い)の充実

学校教育目標の達成を目指すためのPDCAサイクルを構築し、建設的で深い議論(熟議)を重ねます。委員が学校運営の当事者としてやりがいを感じられるよう工夫します。

B. 一体的な推進

「学校運営協議会」の決定事項を、地域住民が学校をサポートする「地域学校協働活動」で実現します。協議と実行を連携させることで、活動が活性化します。

4. コミュニティ・スクール導入で期待される5つの効果

学校と地域が連携を深めることで、以下のようなメリットが期待されます。

1. 学校教育活動の活性化

学校行事や教育活動への地域・保護者の参加が増え、子どもたちの体験的な学びが充実します。

2. 特色ある学校づくり

地域の実情を踏まえた協議により、独自の取組や充実につながり、学校の個性が際立ちます。

3. 教職員の働き方改革

地域からの多様な支援を得ることで、教職員の業務改善につながります。

4. 学校運営への参画意識の向上

委員が「チーム学校の一員」としての意識を醸成し、当事者として学校づくりに主体的に関わります。

5. 地域学校協働活動の強化

協議会を通じた情報共有により、活動を支える地域人材の確保がスムーズになります。

5. あなたの参加が学校を強くする！

コミュニティ・スクールの目指す目標は、「すべての児童生徒の豊かな成長」です。

あなたの持つ知識、経験、時間を学校に分けていただくことが、子どもたちと地域コミュニティをより豊かにします。

- 学校運営協議会の委員として、ご自身の視点を運営に活かす。
- 地域学校協働活動(ゲストティーチャー、登下校の見守り、部活動支援など)にボランティアとして参加する。

私たちの大切な子どもたちのために、学校づくりへのご理解とご協力をお願いいたします！